

Mini Disclosure

百十四銀行 ミニディスクロージャー誌

第155期 営業の中間ご報告

2023年4月1日～2023年9月30日

114 BANK



ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2023年9月中間期ミニディスクロージャー誌」を作成しました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

地域金融機関を取り巻く足下の経営環境には、景気の緩やかな回復が見られる一方で、原材料や資源の価格上昇、日米金利差を背景とした円安の長期化、地政学リスクの高まり、そして深刻な労働力不足など、企業の利益を圧迫する多くの要因が存在しています。お客さまの事業活動や地域経済には少なからぬ影響があり、今後も引き続き不透明な状況が持続すると思われます。



頭 取

綾田 裕次郎

このような中、百十四グループでは、取り組むべき重要課題として6つのマテリアリティを選定し、金融・非金融のさまざまな取組みによる課題解決を通じて、環境・社会価値と経済価値の両立及びサステナビリティ経営の実践をめざす「長期ビジョン2030」を定めました。

同ビジョンのもと、今年4月にスタートした中期経営計画「**創ろうイ・イ・ヨ**」(2023年度～2025年度)では「総合コンサルティング・グループの進化」に向けた取組みを通じて、地域のステークホルダーの皆さまと共にウェルビーイングな社会の創造をめざしています。例えば法人のお客さまに対しては、物価高騰や新型コロナウイルス関連融資の返済開始等に対応する資金繰り支援や経営改善支援のほか、新たな成長や生産性向上に向けた各種の伴走型コンサルティングの高度化等により、お客さまの成長・発展及び地域経済の活性化に取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

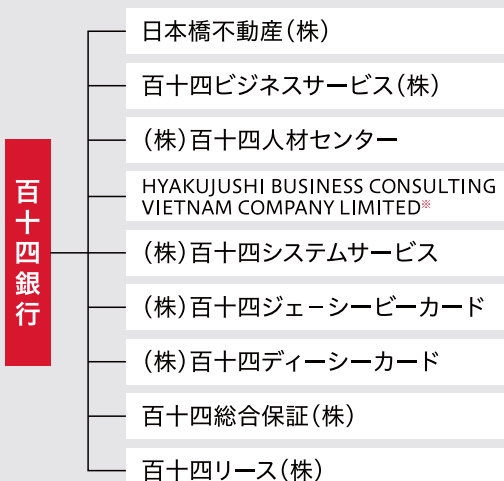
- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

Profile [2023年9月30日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	28,790千株
創 業	1878年11月1日	従 業 員 数	2,032人
総 資 産	5兆7,266億円	店舗数	132店舗
総 預 金	4兆7,501億円(譲渡性預金を含む)	[本支店 99、出張所 22、 クイックスクエア 6、 コンサルティングプラザ 5]	
貸 出 金	3兆4,258億円		
資 本 金	373億円		

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

百十四グループ (2023年9月30日現在)



※ HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED(2023年7月4日設立)は連結対象外としています。

長期的にめざす姿(長期ビジョン)

人口減少・超高齢化の進展に加え、脱炭素・循環型社会への移行や加速するデジタルシフトへの対応等、地域のサステナビリティ(持続可能性)に関わる課題が多様化・複雑化し、地域金融機関を取り巻く環境も急速に変化しています。このような環境変化の中で、私たち百十四グループが地域とともに持続的に成長するためには、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に積極的に取り組むことで、経営の持続可能性を高めていく必要があります。

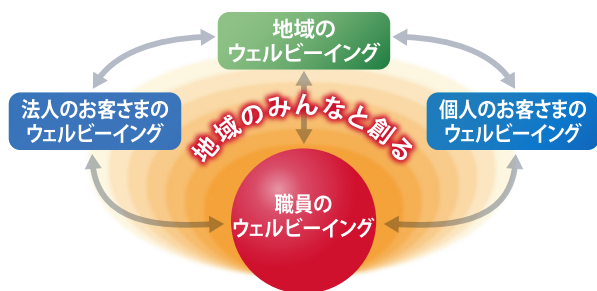
こうした認識のもと、2023年3月、百十四グループは、サステナビリティに関する課題のうち優先的に取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として特定するとともに、マテリアリティ(重要課題)に取り組む先に見える長期的にめざす方向性として「長期ビジョン2030」を定めました。

この長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」の各戦略の実行を通じて、ウェルビーイングな地域社会の創造と百十四グループ経営のサステナビリティ向上をめざしてまいります。

長期ビジョン2030

総合コンサルティング・グループの進化により、地域の人々とウェルビーイングな社会を創造する

ウェルビーイングな地域社会の創造



百十四グループの経営のサステナビリティ向上

株主価値の向上

… ビジョン実現により生み出す価値 …

環境・社会価値

グループマテリアリティに係るサステナビリティKPIの達成

経済価値

長期的にめざす水準

- ☐ 連結ROE5%程度
- ☐ 連結自己資本比率10%程度

百十四グループのマテリアリティに基づく事業展開

地域経済活性化への取組み

人生100年時代への対応

多様な人材が活躍・成長できる環境の整備

DXの実現と地域社会のデジタル化

気候変動等、環境課題への取組み

持続可能な経営基盤の構築

中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」

長期ビジョンの第1フェーズとして、成長エンジンとなる3つの変革(SX・HRX・DX)を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを加速する。

3つの変革
-Transformation-

HRX
Human Resources

SX
Sustainability

DX
Digital

重点戦略

- 総合コンサルティング・グループの進化
- 職員のウェルビーイング向上
- 生産性の飛躍的向上
- 持続可能な経営基盤の構築

中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」

長期ビジョン実現に向けた各戦略実行の第1フェーズとして、3つの成長エンジン(SX・HRX・DX)による変革を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを進めています。

名称	「創ろうイ・イ・ヨ♪」	名称の意味 お客さま・地域から「百十四いいよ!」とっていただけるような付加価値の高いサービスを提供していくことで、“地域のみんな”がウェルビーイングを実感できる「いい世の中」を創っていくという想いを込めています。
基本方針	長期ビジョンの第1フェーズとして、3つの成長エンジン(SX・HRX・DX)による変革を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを加速する。 ① 職員のウェルビーイング向上と生産性の飛躍的向上により個々の職員が能力を発揮できる環境を整備するとともに、コンサルティング機能の強化と新事業領域の探索により課題解決力の強化を図る。 ② コンサルティングとファイナンスを相互に組み合わせながらお客さま・地域が抱える課題解決に伴走し、各ステークホルダーのウェルビーイング実感と百十四グループのサステナビリティ向上の両立をめざす。	
重点戦略	■ 総合コンサルティング・グループの進化 グループの総力を結集し、『地方公共団体等との連携による地域課題の解決』、『法人コンサルティング機能の強化』及び『人生100年時代における個人のお客さまの様々なニーズへのサポート』に取り組む ■ 職員のウェルビーイング向上 働きがいと働きやすさの両立によりウェルビーイングを実感する職員の最大化を図り、お客さま・地域の課題解決に熱意をもって取り組む人材力を強化する ■ 生産性の飛躍的向上 デジタルを活用した業務プロセス改革とチャネル戦略の高度化による飛躍的な生産性の向上を図り、挑戦に必要な人員と時間を創出する ■ 持続可能な経営基盤の構築 有価証券運用の安定化、コスト・リターン管理の徹底、システム・デジタル基盤の整備及びガバナンス強化等を通じてレジリエントで持続可能な経営基盤を構築する	
戦略を支える成長エンジン	3つの変革の推進 - Transformation - SX [Sustainability] HRX [Human Resources] DX [Digital]	

SX(Sustainability) 当行グループと地域社会のサステナビリティの両立
 HRX(Human Resources) 経営戦略と人事戦略の連動による人的資本の最大化
 DX(Digital) データ及びデジタル技術を起点としたビジネスの変革



株主価値の向上

当行初！ZEB店舗誕生

2023年11月、木太支店に近隣店舗を集約し「高松東営業部」として新築移転しました。新店舗では、消費するエネルギーの52%を複層ガラスやLED照明等の各種設備で「省エネ」、太陽光発電により50%を「創エネ」することで年間のエネルギー消費量の収支がゼロ以下となる「ZEB」認定を取得しました。

また店内は気軽に入れるカフェ風の空間で、お客さまはくつろいだ雰囲気の中で各種ご相談いただけるとともに、ロビーの一部を地元企業さまとのコラボスペースとし、商品・サービスのPRをはじめ、販売イベント・展示会・試験販売等の場として活用いただくことができます。



気候変動問題に向けた取組み

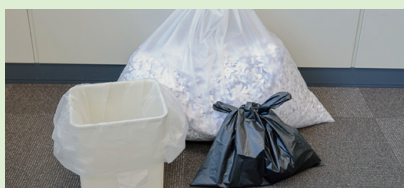
太陽光発電設備の設置

当行保養施設跡地（香川県さぬき市津田）に太陽光発電設備を設置しました。同設備で発電した電力の全量を自己消費することでCO2排出量の削減に取り組んでいます。



エコゴミ袋の導入

99%再生材を使用したゴミ袋に加えて、100%バイオマス原料を使用したゴミ袋の利用も開始しました。脱炭素に加えて、プラスチック削減にも取り組んでいます。



「グリーンパートナー」認定

当行の「百十四の森」における継続的な取組みに係るCO2吸収量と活動内容が評価され、林野庁の「グリーンパートナー2023」に認定されました。



お客さま・地域社会に向けた取組み

ベトナムに現地法人設立

中四国では初めて地方銀行によるコンサルティング現地法人を設立し、2023年10月から事業を開始しました。ベトナムへ進出ニーズをお持ちのお客さまに対し、ニーズヒアリングから進出支援及び現地での伴走支援まで一貫したサービスを提供します。



新たな観光コンテンツ開発

屋島山上の観光活性化に向け、新たなコンテンツの企画に取り組みました。「食べ歩き」をテーマとし、当行のお取引先さまと共同で屋島のかまぼこ「やしかま」を開発しました。

当初は期間限定販売でしたが、好評のため継続販売しています。



デジタル化推進への取組み

2023年2月から提供を開始した「114バンキングアプリ」のほか、2023年5月にはWeb上で住宅ローンの申込ができるサービスも開始しました。より多くのお客さまに便利にご利用いただけるよう、順次機能を拡大してまいります。



従業員満足度向上に向けた取組み

「ルナルナ オフィス」の導入

働く女性の健康課題の改善をサポートするフェムテックサービスである「ルナルナ オフィス」を西日本の地方銀行として初めて導入しました。



働きやすい職場環境づくり

副業制度の導入、子育て世代支援、中途退職者の再雇用環境の整備等、多様な人材が活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。



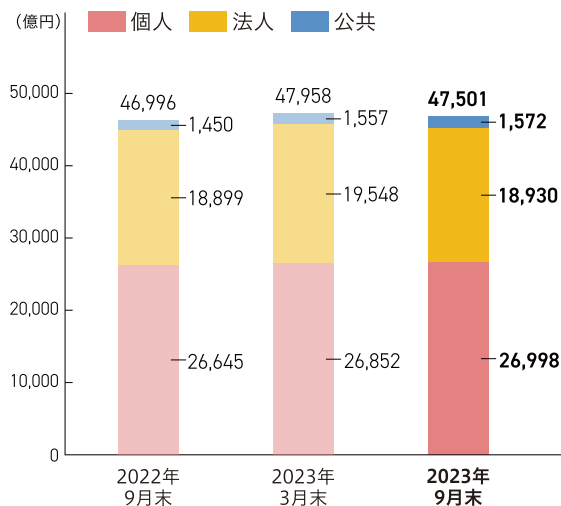
▲副業で神主として神事を執り行う当行行員

業績ハイライト

総預金・貸出金の残高推移

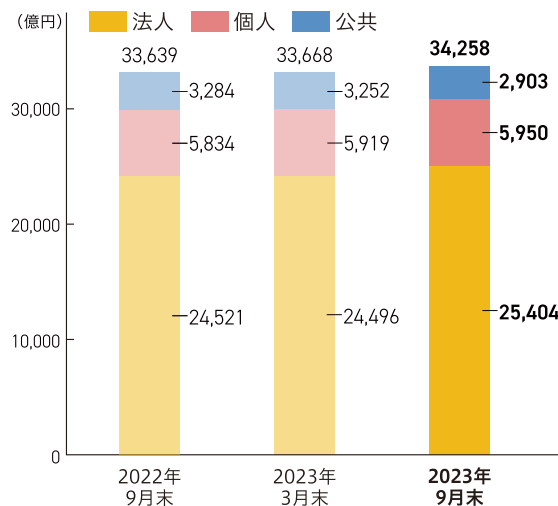
》総預金（預金＋譲渡性預金）【単体】

当中間期末の総預金残高は、個人及び公共預金は増加しましたが、法人預金が減少したことにより、前期末比457億円減少して4兆7,501億円となりました。



》貸出金【単体】

当中間期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前期末比590億円増加して3兆4,258億円となりました。



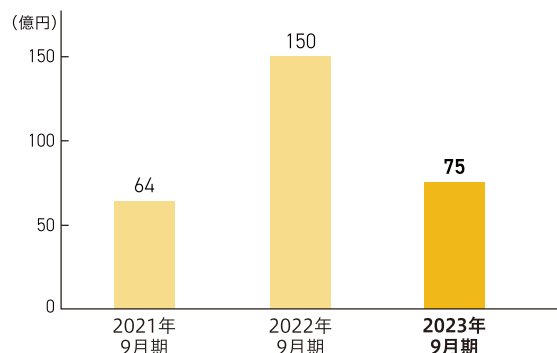
業績の推移

》コア業務純益（除く投資信託解約損益）【単体】

コア業務純益（除く投資信託解約損益）*は、金融派生商品関係損益及び外国為替売買益を含むその他業務利益*の減少などにより、前年同期比75億円減少して75億円となりました。

*コア業務純益（除く投資信託解約損益）とは
銀行の本来業務からの利益を表す指標

※ 債券関係損益を除く

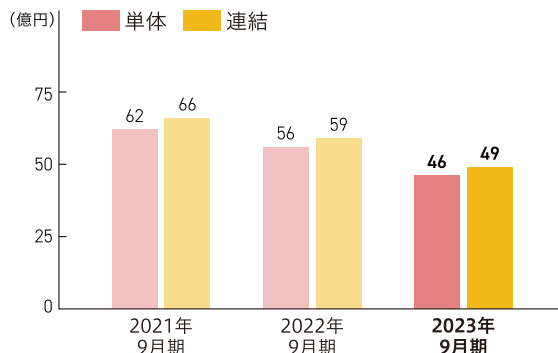


》中間純利益【単体・連結】

中間純利益は、債券関係損益が改善しましたが、コア業務純益（除く投資信託解約損益）及び株式等関係損益の減少などにより、前年同期比10億円減少して46億円となりました。

また、連結中間純利益*は、前年同期比10億円減少して49億円となりました。

*連結中間純利益とは
親会社株主に帰属する中間純利益

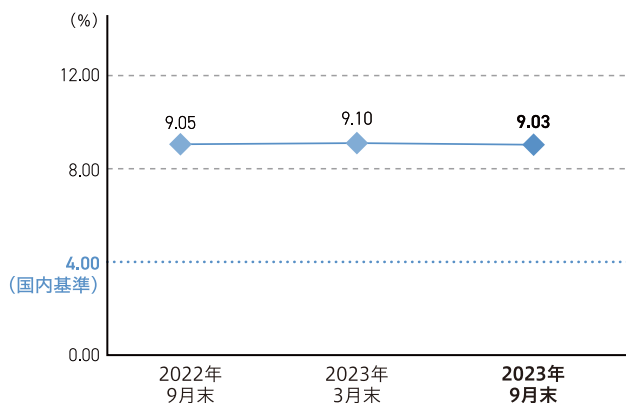


経営の健全性について

自己資本比率の推移【連結】

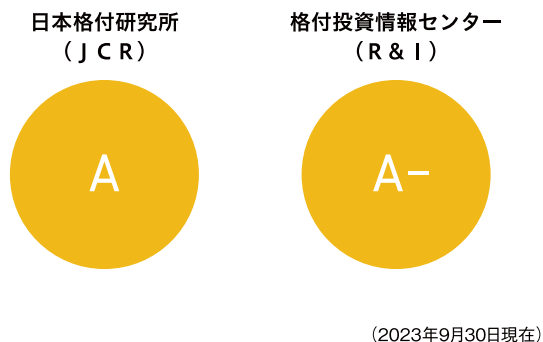
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制(国内基準)に基づく連結自己資本比率は、2023年9月末現在で9.03%となっており、引き続き十分な水準を確保しています。



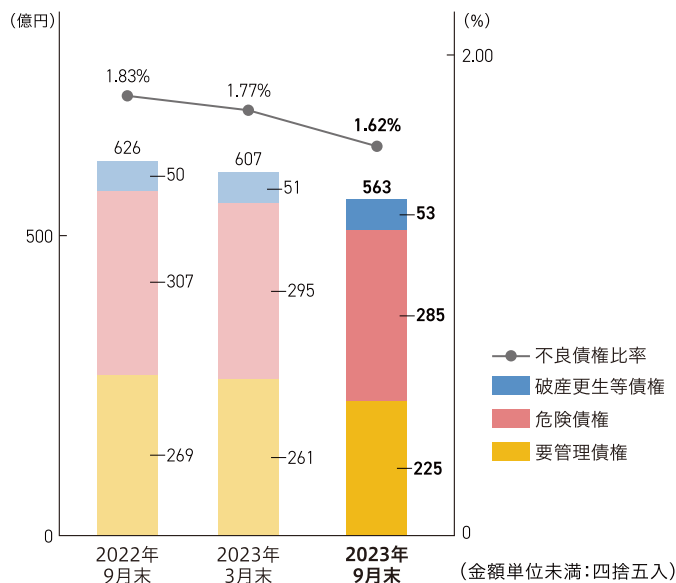
格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について「A」を、格付投資情報センター(R&I)から発行体格付について「A-」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されています。



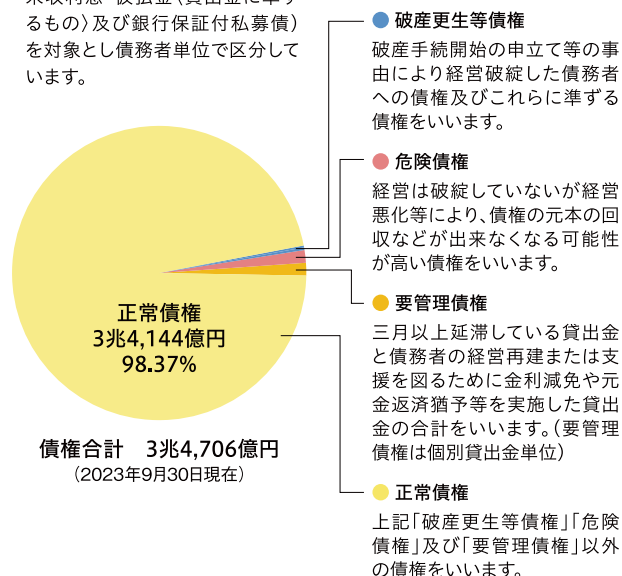
金融再生法開示債権の状況【単体】

当中間期末の金融再生法開示債権*ベースの不良債権残高は、前期末比44億円減少して563億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.15ポイント低下して1.62%となりました。



*金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しています。



株式情報

株式のご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までとします。

定時株主総会

毎年6月に開催します。

配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主さまに対しお支払いします。

中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただくと便利です。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

各種お問合せ

(郵便物送付先) 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

(ご照会先) 0120-094-777 (通話料無料)

(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

公告掲載方法

電子公告により行います。

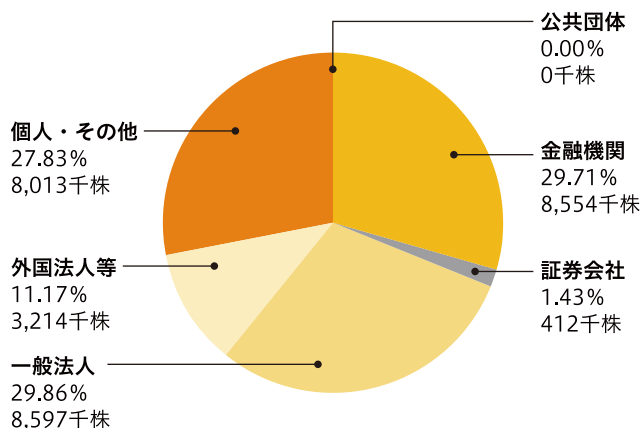
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株式の状況

発行済株式の総数：28,790千株 (2023年9月30日現在)

株主数：25,492名

所有者別株式数



株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期保有していただくために、株主優待制度を導入しています。

対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株(1単元)以上の株式を1年以上継続保有^(※)される株主さまが対象です。

優待制度の内容

地元香川県の特産品及び社会貢献活動に対する寄付コースを掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

なお、専用カタログは例年6月に発送しています。

保有株式数	専用カタログ
100株以上500株未満	2,500円相当
500株以上	5,000円相当

(※)1年以上継続保有とは、基準日(3月末日)とその前年3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で100株以上の保有記録が連続して記載、または記録されていることです。



いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

編集発行/2023年12月 百十四銀行 経営企画部 広報・SDGs推進室

〒760-8574(専用) 香川県高松市亀井町5番地の1

Tel.(087)831-0114 ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>